事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の	概要							
氏名又は名称		株式会社キザキ						
代表者名	氏	大名 木﨑秀臣 役職名 代表取締役社長					帝役社長	
主たる事務所 の所在地				長野県小諸	市大字加	叩増字上の	平561番地2	
主たる事業	大约	分類				E 製造業		
の分類	中分	分類			3 2	その他の	製造業	
主たる事業 の概要	スキ	スキーポール・トレッキングポール・金属バット等の製造						
		条例	第12条第1	項第1号及び条件	列施行規	見則第4条第	52項第1号に該当	する事業者
制度に該当する		条例	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者					
要件		条例	第12条第1	項第2号に該当	する事業	食者		
	✓	上記.	記以外(任意提出)の事業者					
		基準	年度実績	最終年度の目標	第一年	F度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネル ギー使用量	k1		128. 58	122. 15		123. 96		
エネルキー 起源二酸 化炭素排出量	t- CO ₂		275. 62	261.83		258. 37		
その他ガス 排出量合計	t- CO ₂							
自動車の台数	台		3			2		
自動車からの 排気ガス合計	t- CO ₂							
2 基準年度、	計画	期間及	及び報告対	才象年度				
基準年度		2021	年度	計画期間	F)	2022 年	度~ 2022 年	度
報告対象 年度		2022	年度					
3 計画書(報	告書) の4	公表方法等	Ż				

	ホームページ	営業時間内(9:00-16:45)
7		事務所にて閲覧可能(事務部) 連絡先(0267)22-1354
	その他	注 作りに (V2O1) 22 100年

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針
IS09001に基づき削減目標を定め進捗管理を行う。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

社長 (温暖化対策責任者) 事務部 (計画提出担当者)

5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

管理者会議 1回/月 6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

6の1	エイル	7+	一起源一酸化炭素	糸の排出抑制に	-徐るド	保及い夫領			
基 準	年 度		基準排出量	275. 62	t-CO ₂	生産数	138.00	単位	千個
2021	年度		調整後排出量	275. 62	t-CO ₂	基準原単位	2.00	t-CO ₂ /	千個
目標	年 度		目標排出量	261.83	t-CO ₂	目標原単位	1. 90	t-CO ₂ /	千個
2022	年度		目標削減率	5. 00	%	目標削減率	5. 00	%	
		IS	0に基づき5%のド	削減を目標とす	一る。				
目標設関する		基	計画書における 準排出量増加(電 産数減少(期間集	気使用量集計	の誤り))			
第一年	主座		排出量	258. 37	t-CO ₂	生産数	148.00	単位	千個
<i>7</i> 77 ±	十/又		削減率	6. 25	%	原単位	1.75	t-CO ₂ /	千個
2022	年度		調整後排出量	258. 37	t-CO ₂	原単位削減率	12. 50	%	
2022	十尺		削減率 々のデマンド確認	6. 25	%				
排出量 増減5		前機	理者会議での情報 年比較資料による 械起動時間の調整 認)	る使用量の見え		己動する機械の報 行	告(デマンド	数値変位	との
<i>5</i> 55 → <i>F</i>	T E		排出量		t-CO ₂	生産数		単位	
第二年	十段		削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
	年度		調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	十及		削減率		%				
排出量 増減5									
第三年	主座		排出量		t-CO ₂	生産数		単位	
# <u></u>	十/文		削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
_	年度		調整後排出量		t-C02	原単位削減率		%	
	十/吳	L	削減率		%				
目標の意況及びもの増減	非出量								

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

007227777	一起你一般化灰茶以外仍	温室効果ガスの排出抑制に係る目	標及い美領
基 準 年 度	基準排出量	t-CO ₂	単位
2021 年度	調整後排出量	t-CO ₂ 基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量	t-CO ₂ 目標原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	目標削減率	% 目標削減率	%
目標設定に 関する説明			
第一年度	排出量	t-CO ₂	単位
为 十 <u>戊</u>	削減率	% 原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	調整後排出量	t-C02 原単位削減率	%
2022	削減率	%	
排出量等の 増減理由			
第二年度	排出量	t-CO ₂	単位
/II— X	削減率	% 原単位	t-CO ₂ /
- 年度	調整後排出量	t-C02 原単位削減率	%
干及	削減率	%	
排出量等の 増減理由			
第二左曲	排出量	t-CO ₂	単位
第三年度	削減率	% 原単位	t-CO ₂ /
- 年度	調整後排出量	t-C02 原単位削減率	%
一	削減率	%	
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由			

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

6の3 自動車	□の使用に伴う二酸化炭剝	素の排出抑制に係る目標及び実績	
基 準 年 度	基準排出量	t-CO ₂	単位
2021 年度	二十八口	基準原単位	t-CO ₂ /
目 標 年 度	目標排出量	t-CO ₂ 目標原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	目標削減率	% 目標削減率	%
目標設定に関する説明			
第一年度	排出量	t-C0 ₂	単位
另 ^一 十及	外山基	原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	削減率	% 原単位削減率	%
排出量等の 増減理由			177 tr
第二年度	排出量	t-CO ₂	単位 t-CO ₂ /
- 年度	削減率	% 原単位削減率	%
排出量等の 増減理由			
第三年度	排出量	t-CO ₂	単位
另 —十戌	外山里	原単位	t-CO ₂ /
- 年度	削減率	% 原単位削減率	%
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由			

7 重占対策の宝施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
$I \sim \Pi$	1 -1	燃料使用量等の 定期的な把握						
1 11	I -2	エコドライブの 励行						
Ш	Ⅲ-1	次世代自動車の 導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の 導入						

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

		区分			計画		状況
番号	区分	区分 番号	対策内容	実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	350604	デマンド数値管理による節電	2022	6	2022	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模	基準	年度	第一	·年度	第二	年度	第三	年度
(原油換算エネルギー使用量)	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500kl以上 3,000kl未満								
1,500k1未満	2	275. 62	2	258. 37				
合計	2	275. 62	2	258. 37				

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 $(t-C0_2)$

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH_4				
N_2O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
${ m NF}_3$				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車	0	0		
電気自動車	0	0		
燃料電池自動車	0	0		
クリーンディーゼ ル自動車	0	0		
その他 (ハイブリッド等)	1	1		
合計	1	1	0	0
自動車総数	3	2		
次世代車導入割合	33. 3	50		

13 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関 の利用促進	なし
自 転 車 の利用促進	なし
来 客 者 の 交 通 対 策	なし
物流の合理化	なし

14 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細		
		実施内容	実施年度	
	SDGs	長野県SDG s 登録制度へ登録している		
	環境マネジメント システム	環境マネジメントシステムを導入している		
		名称		
	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 支持を表明している		
	グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
	ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
	SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
	RE100	□ RE100にコミットしている		
		□ 再エネ100宣言RE Action へ参加している		
	その他			

	C •> E	
1 5	自由記載欄	